

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-22-1
事業名：防災公園整備事業
事業費：総額 1,333,870 千円 国費 1,000,403 千円 (内訳:設計費 105,449 千円、工事費 1,228,421 千円)
事業期間：平成 26 年度～平成 29 年度
事業目的：津波からの 2 次防御ライン（荒浜港今泉線、橋本堀添線道路整備事業）以東の沿岸部において、津波襲来時の安全を確保するため、一時的な避難が可能な防災公園を整備する。
事業地区：亘理町全域
事業結果 ○大畑浜北防災公園 20,000 m ² 平成 28 年 12 月 22 日完成 避難丘（防災四阿）、駐車場、植樹帯、照明灯、排水溝、集水桝等整備 避難丘登頂にテント、テント用おもり、結束バンド、脚立、簡易トイレ常備 ○大畑浜南防災公園 20,436 m ² 平成 28 年 12 月 22 日完成 避難丘（防災四阿）、駐車場、水飲み場、植樹帯、照明灯、排水溝、集水桝等整備 避難丘登頂にテント、テント用おもり、結束バンド、脚立、簡易トイレ常備 ○吉田浜防災公園 38,781 m ² 平成 28 年 12 月 22 日完成 避難丘（防災四阿）、駐車場、水飲み場、トイレ、植樹帯、照明灯、排水溝、集水桝等整備 避難丘登頂にテント、テント用おもり、結束バンド、脚立、簡易トイレ常備 ○荒浜防災公園 41,928 m ² 平成 29 年 3 月 24 日完成 避難丘（防災四阿）、駐車場、水飲み場、トイレ、植樹帯、照明灯、排水溝、集水桝等整備 避難丘登頂にテント、テント用おもり、結束バンド、脚立、簡易トイレ常備 <平成 26 年度～平成 27 年度>測量・設計業務委託 <平成 27 年度～平成 28 年度>吉田地区（その 1・2・3）防災公園整備工事 <平成 27 年度～平成 29 年度>荒浜地区防災公園整備工事 <平成 28 年度> 荒浜地区幹線排水路整備工事、荒浜地区防災公園植栽工事 <平成 29 年度> 大畑浜北防災公園植栽工事
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○防災公園は、津波被害を軽減する防災機能の他に、観光・レクリエーション等の地域振興機能、景観や環境の再生・形成機能を持っており、地域と連携し事業を完了させた。 ○観光・レクリエーション等の地域振興機能防災公園の園路は、日常的な散策路として地域の方々にも親しまれている。また、防災公園内は、地元まちづくり協議会が、震災伝承施設を整備し、広域的な観光資源として期待される。 ⇒上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。

② コストに関する調査・分析・評価

- 町が策定した復興計画に基づく土地利用計画により、宮城県沿岸部における都市公園・緑地新設の考え方及び入込数の実績等で避難者数を推計し、適正な規模で事業を推進した。
- 避難丘の盛土材として、津波堆積物や他工事からの流用土を活用しコスト縮減を図った。
- 用地については移転元地を活用した。

⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
設計・工事	平成 26 年 9 月～平成 29 年 3 月	平成 26 年 9 月～平成 29 年 10 月

○防災公園の施工にあたっては、隣接する災害復旧事業(公園)や下水道整備事業との工程調整が必要となり、計画よりも事業期間を要することとなった。

⇒ 想定した事業期間内から多少遅れたものの、関係事業との調整会議を行うことで効率的に事業を進めることができたため、事業手法として妥当であったと判断する。

事業担当部局

亘理町施設管理課管理班 電話番号：0223-34-0512